



選手権大会は、11月にロシア・サンクトペテルブルクで開催されます。2018ワールドカップサッカーが開催されたことから耳にしたことある都市ですね。



19日には、稗田指導員とお母さんの3人で町長に出場報告にきてくれました。町長から「選手として一気に花開いたね。」と聞かれると「まだまだ、つぼみです。」と答えるなど、11歳とは思えないコメントに和やかな雰囲気ではありましたが、町長から「世界選手権でも、練習の成果を発揮して平常心で演技に集中してほしい。」と期待されると照れながらも、「頑張りたいです。」と答えていました。

### まだまだ つぼみです

赤石くんは、小学3年の時に全道大会で初優勝してから、今では全道大会の優勝常連連だそうです。

**始めて3年で 全道大会初優勝**  
トランポリンは、連続して10本の技を決めることと、技の難易度によってスコアが決まる競技です。

の横を通った時に「ここはなんだろ？」と、お母さんと一緒に覗いてみたら、中にはトランポリンがあり、初めて体験したら「おもしろい、ここで習いたい。」と、ちよつとした好奇心が全ての始まりでした。  
トランポリンを指導している稗田道也さんは、「赤石くんは、とにかく跳躍に高さがあります。地上から6mの高さまで飛ぶんです。」と話してくれました。

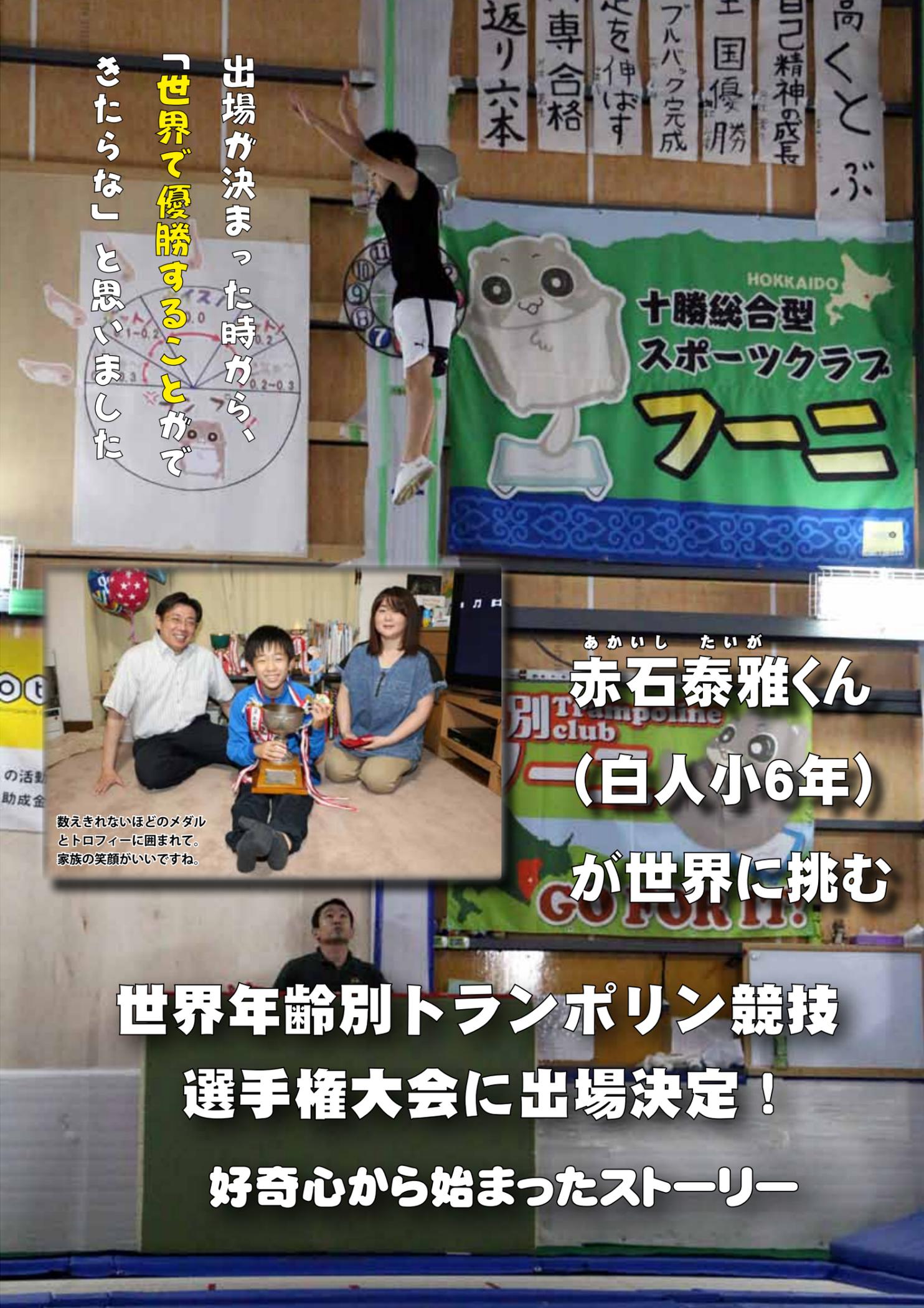
### 最大の武器は 跳躍の高さにある

赤石くんが、トランポリンを始めたのは小学1年生からで、オープンしたての札内共栄町にある十勝総合型スポーツクラブ「フーニ

います。これまで、5人の現役オリンピック選手が誕生している幕別町から「6人目の登場！」との声も早くも上がっています。

### 幕別町から メダリスト誕生の予感

白人小6年の赤石泰雅くんが、11月にロシアで行われる世界年齢別トランポリン競技選手権大会に日本代表として出場することが決まりました。  
また、オリンピックメダル獲得候補として期待できる選手を対象にした、日本体操協会の2024年特別強化指定選手にも決定して



出場が決まった時から、「世界で優勝すること」ができたらな」と思いました

あかいし たいが  
**赤石泰雅くん**  
(白人小6年)  
が世界に挑む

**世界年齢別トランポリン競技 選手権大会に出場決定！**

**好奇心から始まったストーリー**

数えきれないほどのメダルとトロフィーに囲まれて。家族の笑顔がいいですね。